

鮓屋の下積み修行はムダなのか？

伊勢です、

ホリエモンさんが

「鮓屋で何年も修行するなんて時間のムダ」

と発言をして、

賛成！反対！

と、だいぶ議論が盛り上がって
いたのを知っていますか？

その話とも少し関係するのが
今日の内容です。

今日の話は

「世界一の美食の街
サン・セバスティアンの成功には
3つの仕組みがあった」

という話です。

先日、メールでサン・セバスティアンという
世界一の美食の街についてお話をしました。

読んでいない方はこちら：

<http://k2ac.jp/content/change.pdf>

すると、それを見ていた
グルメ友だちの相馬さんから
更に面白い情報が届きました。

サン・セバスティアンが発展したのは
料理をオープンソースとした
という話は前回した通りです。

つまり、街中のレストランの
レシピが公開されていて

自由に使っていいということです。

隣のレストランのレシピが分かるのです。

これだけでも凄いのですが
更に、興味深い情報を教えて
もらいました。

サン・セバスティアンの成功には

「人材の育成の成功」

という側面もあったそうです。

=====

優秀な人材が生み出され続ける理由

=====

確かに、優秀な人材が育たない事には
質はあがっていきかないですね。

具体的にどのような事が
人材育成の仕組みがあるかというと

サン・セバスティアンには

「Basque Culinary Center (ガストロノミーに特化した大学)」

が、あるそうです。

簡単に言うと
料理人になるための大学です。

この大学は1年生のときに
料理の基本を教わり、

2年生から4年生の間は卒業まで
世界中のレストランで
インターンをします。

インターンをしながら
自分のお店の開店準備をします。

世界中のイケているお店で
インターンをしながら
自分のお店のコンセプトや
メニュー開発などをするのです。

そして、卒業までにそれを
ビジネスプランにまとめあげます。

そして、卒業と同時に
すぐに自分の店を開店します。

**卒業と共に、すぐにお店をやる
というのも特徴的です。**

こうして、毎年素晴らしい
料理人が生まれます。

素晴らしい店が
サン・セバスティアンに
生まれ続けます。

本当に素晴らしい仕組みだと
思います。

=====
**世界中の最新メニューが自然に
集まる仕組み**
=====

他にも素晴らしいと思うことがあります。

それは、学生たちは世界中の
優れたレストランで
修行を積むわけです。

つまり、

世界中の優れたレシピが学生によって
サン・セバスティアンにもたらされる
ということです。

そして、学生はそのレシピを

更に工夫した料理を自分の店で
提供します。

世界最先端を更にレベルアップした
レシピを産み出すということです。

もちろん、そのレシピはオープンなので
誰でも知ることができます。

世界最新のレシピが自然と生まれ
循環する仕組みが、この街にはあります。

=====
**大学があることで、生み出される
3つのもの**
=====

これは、つまり

**1) 常に、新しいレシピが
生まれ続ける仕組み、**

2) 人材が育ち続ける仕組み、

3) 良いお店が生まれ続ける仕組み、

その3つの仕組みが
サン・セバスティアンには
あるということです。

=====
行政ではなく民間が運営する大学
=====

ちなみに、この大学ですが
民間企業や世界的な料理人が
スポンサーになって運営されています。

民間の大学だから思い切った
運営ができるというのはあると思います。

.....

サン・セバスティアンですが
本当に興味深い街だと思います。

2週間後ぐらいに行ってきますので
また、レポートしますね。

まとめると、

=====

**1.料理の世界にオープンソースの概念を
持ち込み、世界一の美食の街になった**

**2.良い店、良い料理人、良いレシピを
産み出す大学がある**

=====

これが、サン・セバスティアンの
素晴らしいところだと思います。

そして、

個人的に一番、学びになったことが
あります。

**やはり、これからの時代は
このスキルが重要だ、**

と思ったのです。

サン・セバスティアンの話から
あなたは、何を学びましたか？

ぜひ、感想で送ってくると嬉しいです。

感想お待ちしております！

私自身の最大の学びは、

次回のメールでお伝えします。

それでは、今日も最後までお読みくださり
ありがとうございました。

伊勢隆一郎

追伸：

昨日は、先週金曜日にオープンした
ばかりの、新宿にできたVRのアトラクションを
体験できる

「VR ZONE」

に、行ってきました。

360度の仮想現実のゲームが
たくさんあったのですが
想像以上に凄かったです。

もう、ヘッドマンディスプレイを
外すまでは、完全に、ゲームの世界に
没入してしまいました。

一番おもしろかったのは
マリオカートのVRです。

カメを手で掴んで、投げつけられます。

そこで、感じた事がいくつか
あったのですが、ライン@で
お話したいと思っています。

面白かったものと
運営の課題などが
見えてきました。

どうぞ、お楽しみに。

ライン@に登録していない方は
こちらから、ご登録ください。

· ID

@mww1831d

· QR

<https://line.me/R/ti/p/%40mww1831d>